

～ 瀬戸内海に浮かぶ離島 大崎上島町 ～

まるごと“島”体験

大崎上島海生体験交流協議会

〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野6625-1

TEL 0846-65-3123 (直通) FAX 0846-65-3144

MAIL shinko01@town.osakikamijima.lg.jp

(大崎上島町役場地域経営課内)

協議会の概要

広島県大崎上島町は瀬戸内海のほぼ中央に位置する面積43.11㎡、人口約7,000人の離島です。本土とは、竹原港や安芸津港と約30分のフェリーで結ばれています。その他、大崎下島・大三島・今治市との航路もあります。

【構成】

町・町議会・商工会・観光協会・区長会・農協・漁協
 会長・・・大崎上島町副町長
 事務局・・・大崎上島町地域経営課

【受入体制】

- 民泊受入家庭 86軒 受入可能数 120名
- 民泊受入・インストラクター研修の実施
- 安全管理や危機管理の研修の実施
- 緊急時の連絡体制マニュアルの配布

【受入実績】 135校 17,947人

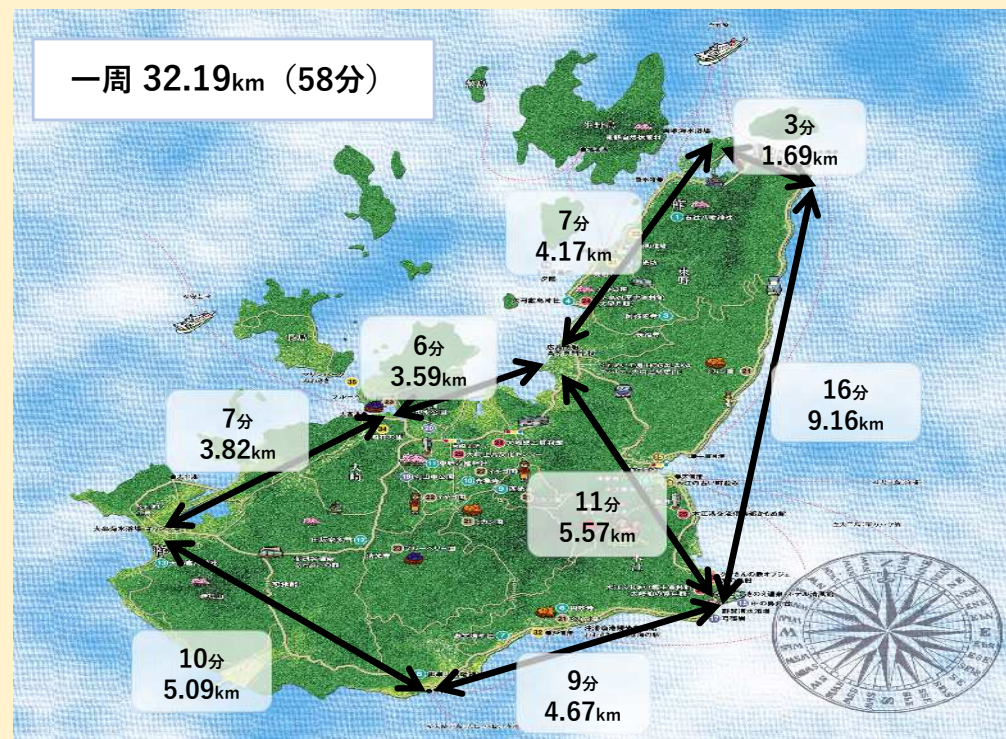
年度	受入校数	人数
平成25年度 ～ 令和6年度	累計 134校 (中学校74校・高校57校)	17,836人
令和7年度 (実績)	1校(中学校1校)	111人
令和7年度 (予約)	15校(中学校8校・高校7校)	1,525人



民泊受入実践研修



安全衛生講習



大崎上島町へのアクセス



フェリーの予約について

◆竹原⇔白水

【定期便・チャーター便】

大崎上島海生体験交流協議会

TEL 0846-65-3123 FAX 0846-65-3144

◆今治⇔宗方⇔天満

【定期便】大三島ブルーライン

TEL 0898-32-6713 FAX 0898-33-3626

【チャーター便】(株)イマダイコーポレーション

TEL 0898-22-2123 FAX 0898-22-6007

◆安芸津⇔大西港

【定期便】安芸津フェリー(株)

TEL 0846-45-0462 FAX 0846-45-1553

※チャーター料金に関しては税別料金の表示です。
※料金は2025年1月1日現在です。改定になる場合があります。
※フェリー欠航率は1%未満です。
※過去、受入当日に欠航したことはありません。

民泊体験・家業体験

～ありのままの生活を体験します!!～

農の体験

<収穫体験>

じゃがいも、タケノコ、ビワ、きゅうり、ブルーベリー、野イチゴ、トマト、サラダ菜、ネギ、パセリ、いちご、ナス、ピーマン、モロッコ、三つ葉、レモン、梅、にんにく、甘夏、はっさく、そら豆など

<作業体験>

さつま芋の苗植え作業、みかん・レモン・ブルーベリー狩り、野菜苗の植え付け、耕運機で畑を耕す、ぶどうの袋かけ、畑の水やり・ハウスレモン園作業、トマトの箱詰め・畑の草刈りなど



海の体験

丘釣り・浜釣り・船釣り、クルージング、シーカヤック・SUP、磯観察、船・栈橋見学、貝がら・シーグラス拾い、にいな取りなど



食の体験

<調理体験>

魚のうろこ取り・魚の三枚おろし・魚の刺身・魚の煮つけ・魚のフライ・いなり寿司作り・巻きずし作り・天ぷら作り・お菓子作り・おはぎ作り・そら豆の皮むき・ジャム作り・食事の後片付けなど



その他の体験

神峰山・大串海水浴場散策、花火、風呂焚き、薪割り、華道、茶道、鐘つき・本堂のぞうきんがけ、花壇の水やり、星の観察、蛍の観察、福祉ボランティア、座禅、和太鼓、大崎上島についての話、造船所見学、しいたけ工場見学、庭の草取り、犬の散歩、グランドゴルフなど

生徒の声（体験後アンケートより）

- ・初めて魚を釣って捌いた ・嫌いだった魚を食べられるようになった
- ・自然豊かで癒された ・普段の生活ではできない体験ができた
- ・修学旅行の中で一番楽しかった ・人と関わることの楽しさを知れた
- ・人生を生きていくうえで大切なことを学ぶことができた
- ・本当の家族みたいだった ・また来るけんね～！ など

基本的に雨天でも合羽を着用して体験していただきます。
荒天等でできない場合も各家庭で体験を用意しています。

おすすめプログラム ～ 選択別体験メニュー ～

① 櫓伝馬体験 戦国時代に瀬戸内海で活躍した水軍の伝統文化を体験できます。



大崎上島には200年以上前から伝わる木造船があります。厳島(宮島)で合戦があった際、この船に乗った「大崎衆」が厳島までかけつけ勝利に貢献したと伝えられています。櫓伝馬は漕ぎ手の心がひとつになるとスピードが出ます。カッターやレガッタとはまたひと味違った櫓伝馬で、木のぬくもりを感じながら水軍の誇りと伝統文化、チームワークを学びます。



【人数】 112名/回 224名/日
【時間】 3時間
【時期】 5～10月

② シーカヤック体験 海の体験が充実しており、瀬戸内海が多島美と穏やかな自然を満喫できます。



大崎上島周辺には大小多数の島があります。瀬戸内海の穏やかな流れの中を漕ぎ進みます。周辺には「甘藻」(あまも)と呼ばれる海藻の日本でも有数の群生域でもあります。甘藻は魚の育成に必要なプランクトンや稚魚の絶好の棲家であり「魚のゆりかご」と呼ばれています。航海中に甘藻に触れながら環境について学びます。



【人数】 120名/回 240名/日
【時間】 3時間
【時期】 4～10月

その他のプログラム

～ 島の自然と文化を体験 ～

農業体験 <みかん農家体験>



みかん収穫体験

海の体験 <刺網・釣り体験>



釣り体験

アウトドアの体験 <神峰山トレッキング・グランドゴルフ>



神峰山トレッキング体験



グランドゴルフ体験



刺網体験

大崎上島町の魅力と課題 SDGs探求学習テーマ

新学習指導要領の改訂で従来からの「生きる力を育む」に加えて「主体的・対話的で深い学び」の視点から特別教育活動、とりわけ修学旅行等で、その実現に向けての期待が高まります。主体的に事前、事後学習を行うことに加え、現場での対話的な体験学習により狙いの深い学びとなります。旅行先での学習のテーマは地域事情にマッチしたものでなくてはなりません。地域の魅力と課題を示すことにより、主体的なテーマの選択が可能となります。

大崎上島町の魅力

①完全離島の風光明媚な島

瀬戸内海の穏やかな海に浮かぶ、船でしか来れない島。島内最高峰の神峰山(かんのみねやま)から見える瀬戸内の多島美は絶景です。

②みずみずしい柑橘・果物

町のいたるところに柑橘・果物の畑があり、季節になればみかんやレモン・ブルーベリーなどの優しく甘い香りが辺りに広がります。

③ここでしか体験できない櫓伝馬

村上水軍時代の伝令船の「櫓伝馬」の文化を今に伝える、全国唯一の体験プログラム。貴重な伝統文化を体験できます。

大崎上島町の課題

①少子高齢化による担い手不足

少子高齢化により担い手が不足しており、耕作放棄地や伝統文化の継承など、多くの問題を抱えています。

②空き家の増加

人口減少により、空き家となった家屋が増加し、地域住民の生活環境が悪化しています。

③獣害による農作物の被害拡大

野生のイノシシなどが増加し、大切に育てたみかんや野菜が食べられたり、畑を荒らされるなどの被害が拡大しています。

瀬戸内海・完全離島・大崎上島町・風光明媚な島の柑橘農業を守ろう

ー大崎上島町SDGs探求学習プログラムー



○体験プログラムのねらい

大崎上島町は、瀬戸内海の温暖で日照が多い地形を利用して柑橘類の栽培が盛んではあるが、近年の食文化の変化に加え、農業生産性の低下や少子高齢化により後継者不足にある。現場を体験し、生産者から情報収集して課題解決を考え、自らが何ができるか考える。



○体験プログラムの流れと課題探求の手順

- ① 開始（自己紹介・体調確認・安全対策）
- ② 柑橘農業の適地条件と概要を理解する
- ③ 柑橘農業にどんな作業があるのか理解する
- ④ 実体験から労働の大変さとやりがいを理解する
- ⑤ 市場動向・農業生産性などの現状を把握する
- ⑥ 未来に向かって必要な産業であるのか考える
- ⑦ どんな課題が存在しているのか考える
- ⑧ 課題解決の障害はあるのか考える
- ⑨ 課題解決策を考え議論する
- ⑩ まとめの会（体調確認・感想発表）

○体験プログラムの教育効果

- ① 瀬戸内海の気象的地形の特徴を理解する
- ② 労働の尊さや価値とやりがいについて学ぶ
- ③ 食文化・過疎高齢化等日本の社会問題を理解する
- ④ 情報を整理し自分事として考え議論する
- ⑤ 設問をグループで考えるチームビルディング
- ⑥ 達成感、爽快感、充実感を体感する

○プログラムから伝えたいこと

- ① 仕事は大変だがやりがいがあり社会貢献になる
- ② 農産物の自給力を高めなければ日本が食糧危機に対応できない
- ③ 社会の一員として生きる力を養う

○服装・装備・準備物

帽子・長袖・長ズボン・運動靴・タオル・水分・雨具（カッパ）

○受入人数 30名 ○所要時間 3時間 ○実施時期 10～3月



SDGsを目指して行動変容に繋げたい事柄

瀬戸内海・完全離島・大崎上島町・瀬戸内海の伝統文化を後世に伝える櫂伝馬学習

ー大崎上島町SDGs探求学習プログラムー



○体験プログラムのねらい

200年以上の伝統を誇り、国土交通省の「島の宝100選」にも選出されている櫂伝馬競漕を体験することで、海を身近に感じながら自然環境や海の怖さについて考えるとともに、伝統文化を守って地域に暮らし続けることの意味やチームワークの大切さなどを学ぶ。



○体験プログラムの流れと課題探求の手順

- ① 開始（自己紹介・体調確認・安全対策）
- ② 櫂伝馬の歴史について学ぶ
- ③ 漕ぎ方、注意事項等の説明
- ④ チームに分かれて櫂伝馬に乗船体験
- ⑤ チーム対抗の櫂伝馬競漕体験
- ⑥ チーム毎にワークショップを実施
- ⑦ 体験で学んだことや課題解決について考える
- ⑧ チーム同士で課題解決策について議論する
- ⑨ まとめの会（体調確認・感想発表）
- ⑩ 町から感謝状の贈呈

○体験プログラムの教育効果

- ① 瀬戸内海の歴史や文化を理解する
- ② 自然環境や海の怖さについて学ぶ
- ③ チームワークの大切さを学ぶ
- ④ 情報を整理し自分事として考え議論する
- ⑤ 設問をグループで考えるチームビルディング
- ⑥ 達成感、爽快感、充実感を体感する

○プログラムから伝えたいこと

- ① 瀬戸内海の自然（海）や歴史、文化
- ② 伝統文化を後世につないでいく意義や難しさ
- ③ チームワークの大切さ

○服装・装備・準備物

帽子・動きやすい服装・サンダル又は靴・着替え・タオル・水分・雨具（カッパ）



○受入人数 112名 ○所要時間 3時間 ○実施時期 5～10月

SDGsを目指して行動変容に繋げたい事柄

瀬戸内海・完全離島・大崎上島町・美しい景観の保全に努める海岸清掃体験

ー大崎上島町SDGs探求学習プログラムー



○体験プログラムのねらい

風光明媚な自然海岸に流れ着く漂着ごみの清掃作業を通じて、漂着ごみの実態とともに人口減少や高齢化による清掃作業の担い手不足の問題を目の当たりにすることで、海の環境保全や少子高齢化といった社会問題を自分事として考える力を養う。



○体験プログラムの流れと課題探求の手順

- ① 開始（自己紹介・体調確認・安全対策）
- ② 漂着ごみの実態について学ぶ
- ③ ごみ分別方法の説明
- ④ 班に分かれてごみ拾い体験
- ⑤ 班ごとにワークショップを実施
- ⑥ 班同士で課題解決策について議論する
- ⑦ まとめの会（体調確認・感想発表）
- ⑧ 町から感謝状の贈呈

○体験プログラムの教育効果

- ① 自然環境の現状を理解する
- ② 過疎地域の課題について学ぶ
- ③ 環境保全について考える
- ④ 情報を整理し自分事として考え議論する
- ⑤ 設問をグループで考えるチームビルディング
- ⑥ 海や地域への愛着心を醸成する

○プログラムから伝えたいこと

- ① 過疎地域の課題
- ② 自然環境の現状と環境保全の重要性
- ③ 社会問題を自分事として考えること

○服装・装備・準備物

帽子・長袖・長ズボン・運動靴又は長靴・タオル・水分・雨具（カッパ）

○受入人数 120名 ○所要時間 3時間 ○実施時期 通年



SDGsを目指して行動変容に繋げたい事柄

本部宿舎①

きのえ温泉ホテル清風館^{せいふうかん}

住所：広島県豊田郡大崎上島町沖浦1900
《TEL》0846-62-0555 《FAX》0846-62-1070
定員：200名 ※協議会本部から車で約15分

部屋について

和室12畳 20R 特和室20畳 2R 洋室ツイン 10R 計 32R

予約について

予約可能時期までは当協議会が御社のご希望に基づき本部宿舎を押さえ、予約可能時期後に御社から正式な御予約をしていただきます。



本部宿舎②

いづみ旅館

住所：広島県豊田郡大崎上島町東野3113
《TEL》0846-65-2140 《FAX》0846-65-2100

定員70名 和室、洋室トイレ付、新館バストイレ付

だいあん

大安

住所：広島県豊田郡大崎上島町中野4593-32
《TEL》0846-64-3060 《FAX》0846-64-3675

定員48名 和室 12室 洋室 8室

予約について

予約可能時期までは当協議会が御社のご希望に基づき本部宿舎を押さえ、予約可能時期後に御社から正式な御予約をしていただきます。

島の宿むらかみ

住所：広島県豊田郡大崎上島町中野4003-1
《TEL》0846-64-3681 《FAX》0846-67-5066

定員32名 和室 8室 洋室 10室

加藤旅館

住所：広島県豊田郡大崎上島町中野4113-1
《TEL》0846-64-2007

定員16名 和室 8室

規模の小さな旅館もありますので、予約状況等によっては分宿となる場合があります。

緊急時の連絡体制

事故・トラブル等発生

命に関わる緊急の場合

救急 119
警察 110

大崎上島海生体験交流協議会事務局（地域経営課）

☎0846-65-3123（8：30～17：15）

【時間外】事務局員携帯※詳細は受入れ前に書面をお渡しします。

事務局職員が公用車で迎え

本部宿

事故及びトラブル等発生現場確認へ

総務課長

状況確認・学校と相談・病院に搬送

協議会会長に連絡・状況報告

町長に連絡・状況報告

一次救急病院

円山医院	64-2062
寺元医院	64-2093
射場医院	65-3304
ときや内科	63-0001
田村医院	63-0301

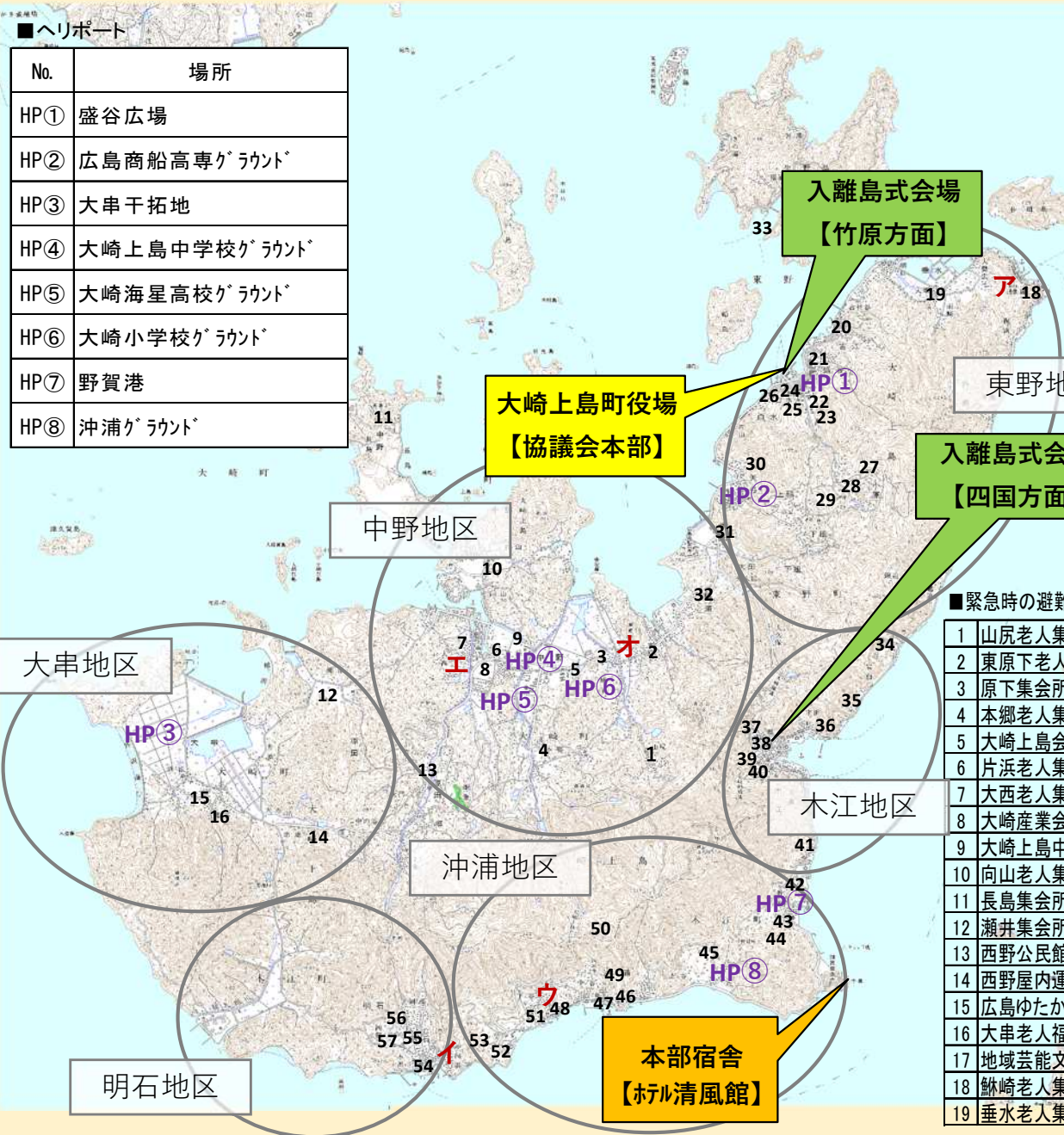
二次救急病院

県立安芸津病院	(0846)64-0055
馬場病院	(0846)22-2071
安田病院	(0846)22-6121

三次救急病院

広島大学病院	(082)257-5555
中国労災病院	(0823)72-7171

病院・ヘリポート・緊急時避難場所位置図



■ヘリポート

No.	場所
HP①	盛谷広場
HP②	広島商船高専グランド
HP③	大串干拓地
HP④	大崎上島中学校グランド
HP⑤	大崎海星高校グランド
HP⑥	大崎小学校グランド
HP⑦	野賀港
HP⑧	沖浦グランド



■病院

No.	病院名	電話番号
ア	射場医院	0846-65-3304
イ	田村医院	0846-63-0311
ウ	ときや内科	0846-63-0001
エ	円山医院	0846-64-2062
オ	寺本医院	0846-64-2093

■本部宿からの所要時間

中野地区	13～17分
西野地区	15～20分
東野地区	12～18分
木江地区	3～6分
沖浦地区	2～6分
明石地区	6～9分

■緊急時の避難場所

1 山尻老人集会所	20 古江老人集会所	39 木江公民館
2 東原下老人集会所	21 盛谷老人集会所	40 浄泉寺
3 原下集会所	22 東野小学校体育館	41 天寿会館
4 本郷老人集会所	23 東野屋内運動場	42 木江交流倶楽部かもめ館
5 大崎上島会開発総合センター	24 東野文化センター	43 木江保健福祉センター
6 片浜老人集会所	25 白水老人集会所	44 県立大崎海星高校
7 大西老人集会所	26 東野保健福祉センター	45 沖浦屋内運動場
8 大崎産業会館	27 小原老人集会所	46 上の谷集会所
9 大崎上島中学校	28 上組老人集会所	47 大崎上島漁業協同組合
10 向山老人集会所	29 観光農林漁業経営管理所	48 木越会館
11 長島集会所	30 矢弓老人集会所	49 沖浦漁村センター
12 瀬井集会所	31 大田集会所	50 円妙寺
13 西野公民館	32 脇之浦集いの館	51 沖浦農業開発センター
14 西野屋内運動場	33 生野島老人集会所	52 木江小学校
15 広島ゆたか農業協同組合大支所	34 岩白会館	53 木江幼稚園
16 大串老人福祉センター	35 木江解放集会所	54 明石会館
17 地域芸能文化伝承館	36 宇浜地域集会所	55 松浦道場
18 鮎崎老人集会所	37 木江屋内運動場	56 明石地域集会所
19 垂水老人集会所	38 木江会館	57 広島ゆたか農業協同組合明石支所